

1

(30 点)

曲線  $y = x^3 - 4x + 1$  を  $C$  とする. 直線  $l$  は  $C$  の接線であり, 点  $P(3, 0)$  を通るものとする. また,  $l$  の傾きは負であるとする. このとき,  $C$  と  $l$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ.

$$= \left[ -\frac{1}{4}(x+1)^4 + (x+1)^3 \right]_{-1}^2$$

$$= \frac{27}{4}$$

………… (答)

である.

《解答》

$f(x) = x^3 - 4x + 1$  とおくと,  $f'(x) = 3x^2 - 4$  である. 曲線  $y = f(x)$  上の点  $(t, t^3 - 4t + 1)$  における接線  $l$  の方程式は

$$y = (3t^2 - 4)(x - t) + t^3 - 4t + 1$$

$$\therefore y = (3t^2 - 4)x - 2t^3 + 1 \quad \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

である.  $l$  の傾きが負であることから

$$3t^2 - 4 < 0 \quad \therefore -\frac{2\sqrt{3}}{3} < t < \frac{2\sqrt{3}}{3} \quad \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

である.

$l$  が  $(3, 0)$  を通るから,  $\textcircled{1}$  に代入して整理すると

$$2t^3 - 9t^2 + 11 = 0$$

$$(t+1)(2t^2 - 11t + 11) = 0$$

$$\therefore t = -1, \frac{11 \pm \sqrt{33}}{4} \quad \dots\dots\dots \textcircled{3}$$

である. ここで,  $1.8^2 = 3.24 > 3$  より  $1.8 > \sqrt{3}$  であり,  $36 > 33$  より  $6 > \sqrt{33}$

であるから

$$\frac{11 - \sqrt{33}}{4} - \frac{2\sqrt{3}}{3} = \frac{33 - 3\sqrt{33} - 8\sqrt{3}}{12} > \frac{33 - 3 \cdot 6 - 8 \cdot 1.8}{12} = \frac{0.6}{12} > 0$$

である. よって

$$\frac{11 + \sqrt{33}}{4} > \frac{11 - \sqrt{33}}{4} > \frac{2\sqrt{3}}{3}$$

であるから,  $\textcircled{3}$  のうち  $\textcircled{2}$  を満たすのは  $t = -1$  のみである.

したがって,  $l$  の方程式は

$$y = -x + 3$$

である.  $g(x) = -x + 3$  とおく.

$$f(x) - g(x) = (x-2)(x+1)^2$$

であるから,  $C$  と  $l$  の共有点の  $x$  座標は  $x = 2, -1$  である.

また,  $-1 < x < 2$  において  $f(x) - g(x) < 0$  より,  $f(x) < g(x)$  である.

よって, 求める面積  $S$  は

$$S = \int_{-1}^2 \{g(x) - f(x)\} dx$$

$$= \int_{-1}^2 -(x-2)(x+1)^2 dx$$

$$= \int_{-1}^2 \{-(x+1)^3 + 3(x+1)^2\} dx$$

2

(30 点)

次の問に答えよ。ただし、 $0.3010 < \log_{10} 2 < 0.3011$  であることは用いてよい。

- (1) 100 桁以下の自然数で、2 以外の素因数を持たないものの個数を求めよ。  
 (2) 100 桁の自然数で、2 と 5 以外の素因数を持たないものの個数を求めよ。

《解答》

- (1)
- $n$
- を 0 以上の整数として

$$2^n < 10^{100} \quad \text{..... ①}$$

を満たす  $n$  の個数を考える。

- ① の両辺は正なので底 10 の対数をとると

$$n \log_{10} 2 < 100$$

$$n < \frac{100}{\log_{10} 2} \quad \text{..... ②}$$

ここで、 $0.3010 < \log_{10} 2 < 0.3011$  より

$$\frac{100}{0.3011} < \frac{100}{\log_{10} 2} < \frac{100}{0.3010}$$

である。

$$\frac{100}{0.3010} = 332.2 \text{.....}, \quad \frac{100}{0.3011} = 332.1 \text{.....}$$

であるから、② を満たす 0 以上の整数  $n$  は

$$n = 0, 1, 2, \text{.....}, 332$$

の

$$333 \text{ 個}$$

..... (答)

である。

- (2) まず

$$5^m < 10^{100}$$

を満たす自然数  $m$  の個数を考える。両辺正より底 10 の対数をとると

$$m \log_{10} 5 < 100$$

$$m < \frac{100}{\log_{10} 5} \quad \text{..... ③}$$

ここで、 $\log_{10} 5 = 1 - \log_{10} 2$  より、 $0.6989 < \log_{10} 5 < 0.6990$  であるから

$$\frac{100}{0.6990} < \frac{100}{\log_{10} 5} < \frac{100}{0.6989}$$

である。

$$\frac{100}{0.6989} = 143.08 \text{.....}, \quad \frac{100}{0.6990} = 143.06 \text{.....}$$

であるから、③ を満たす自然数  $m$  は

$$m = 1, 2, \text{.....}, 143$$

の 143 個である。..... ④

ここで、 $A, B$  を 0 以上の整数として

$$10^{99} \leq 2^A \cdot 5^B < 10^{100} \quad \text{..... ⑤}$$

を満たすような  $(A, B)$  の組の個数を考える。

(i)  $A = B$  のとき

$A = B = 99$  の 1 個のみである。

(ii)  $A > B$  のとき

$B \geq 100$  のとき、 $A \geq 101$  となり、 $2^A \cdot 5^B > 10^{100}$  となり不適である。

$B = 0, 1, 2, \text{.....}, 99$  のとき、⑤ の各辺を  $10^B$  で割ると

$$10^{99-B} \leq 2^{A-B} < 10^{100-B}$$

となる。 $B$  を 0 から 99 まで動かして考えれば、これを満たす  $(A, B)$  の組の個数は (1) で求めたもののうち、 $2^0$  を除いた 332 個である。

(iii)  $A < B$  のとき

$A \geq 100$  のとき、 $B \geq 101$  となり、 $2^A \cdot 5^B > 10^{100}$  となり不適である。

$A = 0, 1, 2, \text{.....}, 99$  のとき、⑤ の各辺を  $10^A$  で割ると

$$10^{99-A} \leq 5^{B-A} < 10^{100-A}$$

となる。 $A$  を 0 から 99 まで動かして考えれば、これを満たす  $(A, B)$  の組の個数は ④ で求めた 143 個である。

以上、(i), (ii), (iii) から、求める個数は

$$1 + 332 + 143 = 476 \text{ (個)}$$

..... (答)

である。

3

(30 点)

座標空間において原点  $O$  と点  $A(0, -1, 1)$  を通る直線を  $l$  とし、点  $B(0, 2, 1)$  と点  $C(-2, 2, -3)$  を通る直線を  $m$  とする。  $l$  上の 2 点  $P, Q$  と、  $m$  上の点  $R$  を  $\triangle PQR$  が正三角形となるようにとる。このとき、  $\triangle PQR$  の面積が最小となるような  $P, Q, R$  の座標を求めよ。

《解答》

$\triangle PQR$  が正三角形であるから、  $R$  から  $l$  に下ろした垂線の足  $M$  は、辺  $PQ$  の中点になる。また、  $RM = a (> 0)$  とおくと、  $\triangle PQR$  の 1 辺の長さは

$$\frac{2\sqrt{3}}{3}a$$

であり、  $\triangle PQR$  の面積は

$$\frac{1}{2} \cdot \left(\frac{2\sqrt{3}}{3}a\right)^2 \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\sqrt{3}}{3}a^2$$

である。よって、  $\triangle PQR$  の面積が最小となるのは、  $a$  が最小のときである。

$l$  上の動点  $S$ 、  $m$  上の動点  $T$  に対して、実数  $s, t$  を用いて

$$\vec{OS} = s\vec{OA} = \begin{pmatrix} 0 \\ -s \\ s \end{pmatrix}, \vec{OT} = \vec{OB} + t\vec{BC} = \begin{pmatrix} -2t \\ 2 \\ -4t+1 \end{pmatrix}$$

と表せる。  $\vec{OA} \neq \vec{BC}$  より  $l$  と  $m$  は平行でなく、  $S=T$  となる  $s, t$  は存在し

ないから、  $l$  と  $m$  は交わらない。よって、  $l$  と  $m$  はねじれの位置にある。

したがって、  $ST$  が最小になるのは

$$ST \perp l \text{ かつ } ST \perp m$$

のときである。

$$\begin{cases} \vec{ST} \cdot \vec{OA} = 0 \\ \vec{ST} \cdot \vec{BC} = 0 \end{cases}$$

となるのは

$$\begin{cases} -2s - 4t - 1 = 0 \\ -2s - 10t + 2 = 0 \end{cases} \therefore s = -\frac{3}{2}, t = \frac{1}{2}$$

のときであるから、このときの  $S, T$  は

$$S\left(0, \frac{3}{2}, -\frac{3}{2}\right), T(-1, 2, -1)$$

である。よって

$$M\left(0, \frac{3}{2}, -\frac{3}{2}\right), R(-1, 2, -1)$$

のとき、  $a$  は最小となり、  $\triangle PQR$  の面積が最小となる。

このとき

$$a = |\vec{RM}| = \left| \frac{1}{2} \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix} \right| = \frac{\sqrt{6}}{2}$$

であるから

$$\frac{1}{2}PQ = \frac{\sqrt{3}}{3}a = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

である。よって

$$\vec{OM} + \frac{1}{2} \cdot \frac{PQ}{OA} \vec{OA} = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 \\ 3 \\ -3 \end{pmatrix} + \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix},$$

$$\vec{OM} - \frac{1}{2} \cdot \frac{PQ}{OA} \vec{OA} = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 \\ 3 \\ -3 \end{pmatrix} - \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 2 \\ -2 \end{pmatrix}$$

であるから、求める点の座標は

$$P(0, 1, -1), Q(0, 2, -2), R(-1, 2, -1) \quad \dots\dots\dots (\text{答})$$

または

$$P(0, 2, -2), Q(0, 1, -1), R(-1, 2, -1) \quad \dots\dots\dots (\text{答})$$

である。

4

(30点)

$p, q$  を自然数,  $\alpha, \beta$  を

$$\tan \alpha = \frac{1}{p}, \tan \beta = \frac{1}{q}$$

を満たす実数とする. このとき, 次の問に答えよ.

(1) 次の条件

$$(A) \quad \tan(\alpha + 2\beta) = 2$$

を満たす  $p, q$  の組  $(p, q)$  のうち,  $q \leq 3$  であるものをすべて求めよ.

(2) 条件 (A) を満たす  $p, q$  の組  $(p, q)$  で,  $q > 3$  であるものは存在しないことを示せ.

$q=3$  とすると, ① より,  $p=2$  で適する.

以上から

$$(p, q) = (2, 3)$$

..... (答)

である.

(2)  $q$  が 4 以上の偶数のとき, ① の分子は奇数, 分母は偶数となり,  $p$  は整数でない.

$q=5$  とすると, ① より,  $p = \frac{22}{19}$  であるから不適である.

$q$  が 7 以上の奇数のとき

$2(q^2 - q - 1) - (q^2 + 4q - 1) = q^2 - 6q - 1 = (q - 7)(q + 1) + 6 > 0$  であるから,  $0 < (\text{①の分子}) < (\text{①の分母})$  となり,  $p$  は整数でない.

以上から, (A) を満たす  $p, q$  の組  $(p, q)$  で,  $q > 3$  となるものは存在しない.

《解答》

(1)  $q=1$  のとき,  $\tan \beta = 1$  より,  $\beta = \frac{\pi}{4} + n\pi$  ( $n$  は整数) である. このとき

$$\tan(\alpha + 2\beta) = \tan\left(\alpha + \frac{\pi}{2} + 2n\pi\right) = -\frac{1}{\tan \alpha} = -p$$

であるから,  $\tan(\alpha + 2\beta) = 2$  より,  $p = -2$  となる.  $p$  は自然数であるから, これは不適.

$q \geq 2$  のとき

$$\tan 2\beta = \frac{2 \tan \beta}{1 - \tan^2 \beta} = \frac{2q}{q^2 - 1}$$

であり

$$\tan(\alpha + 2\beta) = \frac{\tan \alpha + \tan 2\beta}{1 - \tan \alpha \tan 2\beta} = \frac{\frac{1}{p} + \frac{2q}{q^2 - 1}}{1 - \frac{1}{p} \cdot \frac{2q}{q^2 - 1}} = \frac{q^2 - 1 + 2pq}{pq^2 - p - 2q}$$

である. よって,  $\tan(\alpha + 2\beta) = 2$  より

$$\frac{q^2 - 1 + 2pq}{pq^2 - p - 2q} = 2$$

であり, これを整理して

$$2(q^2 - q - 1)p = q^2 + 4q - 1$$

である.  $q \geq 2$  より

$$q^2 - q - 1 = (q - 2)(q + 1) + 1 > 0$$

であるから

$$p = \frac{q^2 + 4q - 1}{2(q^2 - q - 1)} \quad \text{..... ①}$$

である.

$q=2$  とすると, ① より,  $p = \frac{11}{2}$  であるから不適である.

5

(30点)

$n$  を 2 以上の自然数とする. さいころを  $n$  回振り, 出た目の最大値  $M$  と最小値  $L$  の差  $M-L$  を  $X$  とする.

- (1)  $X=1$  である確率を求めよ.  
 (2)  $X=5$  である確率を求めよ.

《解答》

(1)  $X=1$  となるのは

$$(M, L) = (6, 5), (5, 4), (4, 3), (3, 2), (2, 1)$$

のときである.

$(M, L) = (6, 5)$  となるのは,  $n$  回振るときに 5 か 6 しか出ない場合のうち, すべて 6 やすべて 5 の場合を除いた場合であるから, その確率は

$$\left(\frac{1}{3}\right)^n - 2\left(\frac{1}{6}\right)^n$$

である.

$(M, L) = (5, 4), (4, 3), (3, 2), (2, 1)$  のときも同様であるから, 求める確率は

$$5\left\{\left(\frac{1}{3}\right)^n - 2\left(\frac{1}{6}\right)^n\right\} \quad \dots\dots\dots \text{(答)}$$

である.

(2)  $X=5$  となるのは,  $(M, L) = (6, 1)$  のときである. この余事象は,  $M \leq 5$  または  $L \geq 2$  となる事象である.

$n$  回振るときに 1 から 5 のみ出る場合と, 2 から 6 のみ出る場合から, 重複している 2 から 5 のみ出る場合を除いて考えると, 求める確率は

$$1 - \left\{ \left(\frac{5}{6}\right)^n + \left(\frac{5}{6}\right)^n - \left(\frac{2}{3}\right)^n \right\} = 1 - 2\left(\frac{5}{6}\right)^n + \left(\frac{2}{3}\right)^n \quad \dots\dots\dots \text{(答)}$$

である.